

Acta Paediatrica. 2024; 113(2): 267-275.

The ESSENCE-Q: Can specialist supervision improve scoring agreement across specialist and public health nurses/nursery teachers?

The ESSENCE-Q: 専門家のスーパーバイズによって、専門家と保健師・保育士の間での採点の一致率は向上するのだろうか？

執筆者

Noriko Kitazoe, Sae Mimoto, Ichiro Fukunaga, Masako Hamaguchi, Yuhei Hatakenaka, Christopher Gillberg

概要

【目的】

この研究は、神経発達の診察が必要になる早期徴候症候群（ESSENCE）に精通した専門家が地域の保健師（PHN）と保育士（NST）をスーパーバイズすることにより、評価者間での ESSENCE-Questionnaire（ESSENCE-Q）の採点の一致率が向上するかどうかを調査することを目的とした。

【方法】

PHN 1 名、NST 2 名、および ESSENCE に精通した言語聴覚士（SLP）が、32 名の子どもを独立して評価した。ESSENCE-Qの結果は、第1グループ（1～18番目の子ども）と第2グループ（19番目以降の子ども）に分けられた。スコアの不一致の変化は、評価者間の ESSENCE-Q カットオフ以上か未満かと合計 ESSENCE-Q スコアについて分析した。SLP のスコアは、感度と特異度を評価するための参照として使用した。

【結果】

PHN と NST の合計の ESSENCE-Q スコアは、2 番目のグループでより高い一致率を示した ($p < 0.05$)。合計の ESSENCE-Q スコアにおける PHN/NST と SLP の差を比較すると、2 番目のグループの NST のスコアの差が有意に小さいことが示された ($p < 0.05$)。

【結論】

この調査結果は、専門家のスーパーバイズにより、ESSENCE-Q スコアに関して PHN と NST の間の一致率が向上する可能性があることを示唆している。